

須坂市教育委員会 9 月定例会 会議録

1 日 時 2022 年 9 月 27 日（火）午後 3 時 00 分 ～午後 4 時 00 分

2 場 所 須坂市立東中学校 視聴覚室

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	水上 智恵
教育委員	山下美知子

4 説明のため出席した職員

教育次長	清水 秀一
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	山岸 和美
人権同和教育課長	丸山 絵里
学校給食センター所長	牧 俊彦
文化スポーツ課長	峯村 清一
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子

5 事務局出席職員

庶務係長	小林 貴彦
庶務係	土屋 真由

6 本日の会議に付した事項

1 議題

2 協議

3 一般行政報告

- (1) 教育長出席行事の報告について
- (2) 行事共催等承認の報告について
- (3) 9月定例市議会一般質問報告について
- (4) 情報公開制度運用状況の報告について
- (5) 新型コロナウイルス感染症の状況について

4 その他

- (1) 教育委員会行事予定について
- (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- (3) 須坂市子育て就労総合支援センターの利用実績について

5 学校等の状況報告について

6 全国学力・学習状況調査 結果分析について

教育長が開会を宣した。

1 議題

なし

2 協議

なし

3 一般行政報告

- (1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

- (2) 行事共催等承認の報告について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

・後援事業 11 件。内 2 件新規。

- (3) 9月定例市議会一般質問報告について

教育長が説明を求め、教育次長が説明した。

- (4) 情報公開制度運用状況の報告について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

- (5) 新型コロナウイルス発生・対応状況について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

4 その他

- (1) 教育委員会行事予定について

教育長が説明を求め、各課長が説明した。

- (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

- (3) 須坂市子育て就労総合支援センターの利用実績について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

- ・bota の7月の利用者数は延べ9,421人、1日平均314人の利用があった。このうち、子育て支援センターの利用は1,120人。
- ・8月はbota 延べ7,486人、1日平均249.5人と減少。これは、子育て支援センターの利用制限が主な要因であると考えられる。
- ・子育て支援センターの利用は、土曜日に多く月曜日に少ない傾向。Bota は日曜日の利用者が少ない。

委員：

- ・bota 利用者の年齢層はわかるか。

子ども課長：

- ・ケーキ等を販売しているためか高校生や、ご婦人など老若男女問わず様々な方が来ている。

委員：

- ・利用者の駐車券は自腹なのか。

子ども課長：

- ・子育て支援センターは駐車券を配布しているが、一般の利用者はご自身で駐車場をとっていただいている。

- (4) その他

教育長が説明を求め、特別支援学校訪問について指導主事が説明した。

5 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事が学校等の状況について説明した。

- ・事故報告は小中学校5件、保育園3件、児童クラブ1件。

- ・不登校による欠席状況について、8月末現在小学校11名、中学校43名。

6 全国学力・学習状況調査 結果分析について

教育長が説明を求め、指導主事が説明した。

- ・学力の面で、小中学校共に全国平均を超えることができなかった。特に、小学校の算数と理科、中学校の国語と数学は全国平均を大きく下回った。
- ・自己肯定感や粘り強く取り組む意欲、親切心などは全国平均を大きく上回った。
- ・上位4分の1に含まれる児童の割合は全国平均を大きく下回り、基礎的な知識及び技能の定着の不十分さと、伸びる力を伸ばしていない実態が見えてきて、毎年の課題が改善されないままになっていることが伺える。各校ドリルの時間などを設定して定着を図る工夫をしているが、運用を見直す必要がある。
- ・児童生徒質問紙の結果について、「自分にはよいところがあると思うか」という質問に対しては、小中共に全国平均を大きく上回った。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に対しては、全国平均より小学校は若干低く、中学校では若干高い結果。しかし、ほぼ100%近くなっているため、今後も人権や道徳の学習を通して思いやりの育成に力を入れていく必要がある。
- ・悩みの相談先の有無、学校が楽しいかについては、小中共に全国平均を大きく上回っている。先生との関係が比較的良好であり、環境づくりができています。
- ・これまでに受けた授業でICT機器をどの程度使用したかという質問に対して、小中共に全国平均を大きく上回っている。一人一台端末が支給され2年目となるが、多くの学校で活用されている。

委員：

- ・その調査は全数調査か。今回の調査では、対象児童の何%が受けているのか。
- ・当日欠席した場合は後日受けるのか。
- ・須坂市外の学校に通っている生徒は対象なのか。

指導主事：

- ・全数調査である。基本的には全員が受ける。特別支援学級の知的障害のある生徒は対象外。
- ・欠席した生徒も後日受けることができるが、集計には入れない。
- ・集計は学校単位なので、市外の学校に通学している生徒は須坂市の結果には入らない。

教育長：

- ・全国学力・学習状況調査の結果については、10月3日の臨時会で意見をいただき話し合いを行いたい。

教育長が閉会を宣した。